

人間科学

運転士の異常時対応能力向上プログラムの実用化

小美濃幸司 遠藤広晴

異常時対応能力向上プログラムは、異常時運転シナリオによって異常時の心理を疑似体験し、次にデータに基づいた客観的な振り返りを行うことで自身の心理・行動の傾向を強く意識させるシミュレータ訓練用の教育プログラムです。今回、このプログラムの実用化を目的とした振り返り支援システムを開発しました。

振り返り支援システムは訓練シミュレータに付加するシステムで、6つのサブシステムからなっています(図)。振り返りで使用する運転データ、映像データ、心拍データ等を一元管理し、それら

のスムーズな情報検索と同期表示ができるユーザビリティの高いインターフェースを備えています。また、振り返りのポイントを運転直後に出力する機能を有し、新鮮な記憶で、効果的な振り返ることができるようになっています。

20名の運転経験者に本システムを使ってプログラムを実施して頂き、異常時対応能力向上に役立つとの評価を頂きました。

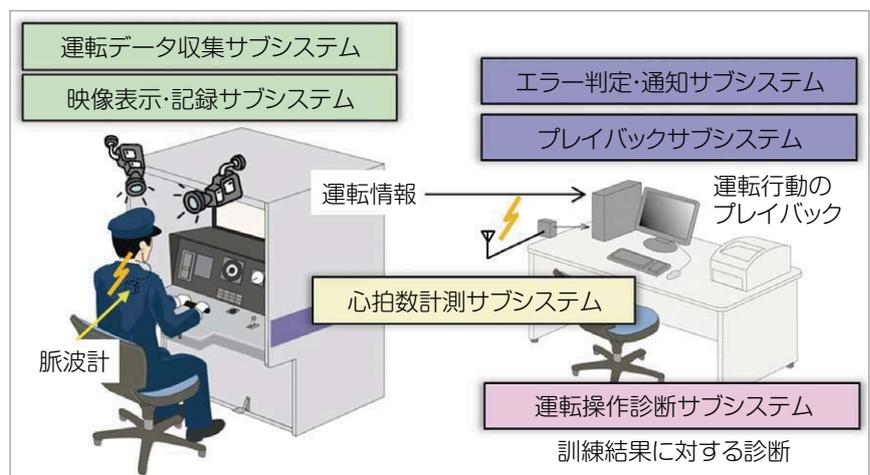


図 振り返り支援システム